

はじめに

エリアマネジメント活動は、エリアの住民、事業主、地権者等が主体となり、エリアの環境や価値の維持・向上、来訪者増加等を目的とする活動として全国各地で展開されています。その活動は良好な街並み景観の形成から地域コミュニティづくり、経済の活性化（地域プロモーション）等に至るまで幅広く、エリアの課題解決につながる成果を上げています。

みなとみらい21地区では、2009年、エリアマネジメント活動を行う法人として「一般社団法人横浜みなとみらい21」（以下、当社団という）を設立しました。当社団では、同年に主催事業として「みなとみらい21エリアマネジメント活動助成事業」（以下、本事業という）を立ち上げ、地区で街づくり活動をしてみたいという団体・グループを募集し、資金の支援を始めました。本事業の資金源となったのは、当社団の会員企業、つまり地区の土地・建物所有者や事業主の皆様から集められた会費でした。それから10年にわたり本事業を実施し、延べ99団体の活動を支援することができました。

本報告書では、10年にわたる本事業の実施状況を中心に、助成団体及び会員企業へのアンケートやヒアリングの結果を報告します。また、本事業は終了しましたが、2018年以降、「公益信託みなとみらい21まちづくりトラスト」に引き継がれるかたちで助成は実施されています。この新助成制度への移行を見据えつつ、本事業の成果と課題、みなとみらい21地区におけるエリアマネジメント活動の将来についても触れていきます。

最後になりましたが、本事業の実施にあたり、ご指導いただきました選考委員の皆様、ご協力をいただきました会員企業、地区関係者の皆様にご心から感謝を申し上げます。そして、みなとみらい21地区で街づくり活動を展開いただいた助成団体の皆様のますますのご活躍をご期待申し上げます。

一般社団法人 横浜みなとみらい21
代表理事 坂和 伸賢